

『もしドラ』が 読者の先生方に投げかけたこと

価値観の多様化の時代とは言われますが、その反面リーダーの不在も深刻な問題です。どんな組織もこれまでのような上意下達だけでは動かない。現場の裁量権を生かして、自分たちで解決していかないとけない。そのときリーダーはどうあるべきなのか。非営利組織の経営にあたっては何が重要なのか。それを野球チームのマネジメントを例に紹介したのがこの本です。

ドラッカーは優れたマネージャーの条件の二つに「真摯さ」を挙げています。相手の二一からスタートしつつも、時には押しつけとも思われるぐらいの信念をもって人を動かす。二つひとつ成果を積み上げていくことが大切だ。そう考えて奮闘する女子マネージャー「みなみ」の姿に、教育現場の課題を解決する糸口があるのではないかと考えた先生方も多いようです。「真摯さとは何か」「プロセスが大事なのか結果が大事なのか」この二つが読者に投げかけたことです。もしこの本をきっかけに学校が変わっていくことがあれば、作者にとってもまさに本望といふべきです。

Natsumi Iwasaki
岩崎夏海 / 作家

いわさきなつみ ● 1968年東京生まれ。高校時代は軟式野球部のピッチャー。東京藝術大学美術学部建築科卒業後、秋元康氏に師事し、放送作家として活躍。2005年から2007年まで「AKB48」のアシスタントプロデューサー。2009年『もし高校野球の女子マネージャーがドラッカーの「マネジメント」を読んだら』(ダイヤモンド社・通称「もしドラ」)を発表しミリオンセラーを記録。同書は映画化・テレビアニメ化もされた。新著に青春野球小説「エースの系譜」がある。